



社会福祉法人
かりがね福祉会
法人案内



Being

理念の主文

『**地域の全人生に幸せを**』
～生成発展によって幸せを拡める地域共同体～

基本方針

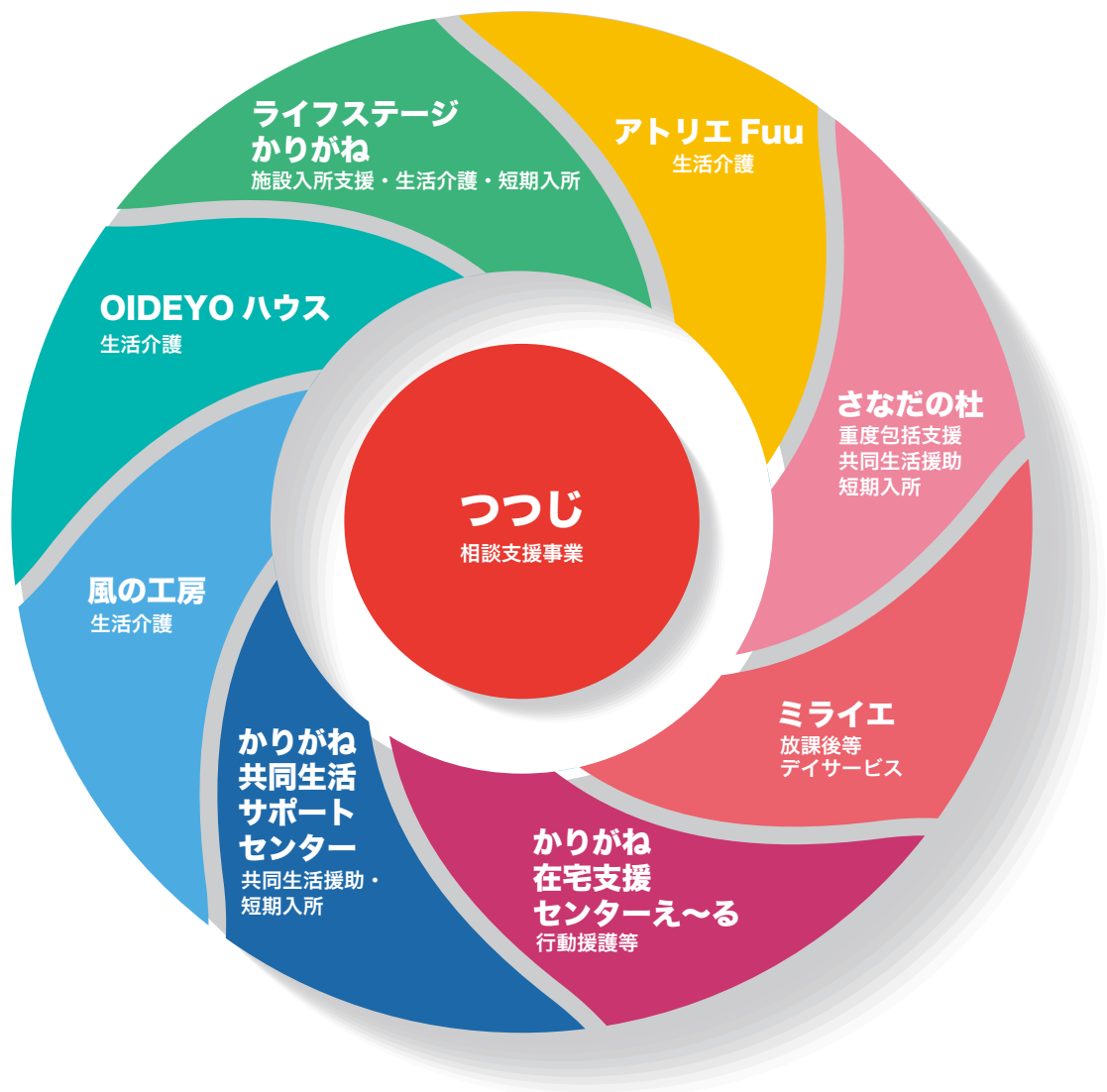
- 一、利用されている方と絆を深め、
自信を持って生きていける支援を行います。
- 一、幸せが拡がる地域社会の実現と発信をし、
輪を広げていきます。
- 一、一人ひとりが生成発展を目指す中で、
真に一体化していきます。

行動指針

- 一、自分の命を誰かの喜びに変えていく為に
真摯に学び続けよう。
- 一、常に理念に立ち返り、今より少しでもより良い
仕事をしていこう。
- 一、大変な時こそお互い様という意識で関わり合い、
助け合おう。

together with this town

この町と一緒に。





Being together with this town

この町と一緒に。

ライフステージ かりがね

- 施設入所支援：定員 35 名
- 生活介護：定員 40 名
- 短期入所：定員 5 名



ライフステージかりがねは 1979 年に開設され、かりがね福祉会の中でもっとも古い歴史を持っています。2006 年に「かりがね学園」から「ライフステージかりがね」に名称変更し、現在では施設入所支援、短期入所、生活介護といった入所支援と日中支援を組み合わせた事業を展開しています。

日中活動では「選べる外出」「サークル活動」など利用されている方が主体的に参加できる活動の充実を図っています。また生活の場面では利用されている方が安心して日常生活を送れる居住空間を提供する事を意識し、支援に努めていきます。

障害福祉サービスを必要としている方や日常生活に困り感を感じている方のご相談にあずかり、障害福祉サービスや地域資源等をご紹介します。私達つつじスタッフは相談者お一人おひとりのコンシェルジュになれるよう、努めていきます。



つつじ

- 指定一般相談支援事業
- 指定特定相談支援事業
- 指定障害児相談支援事業

風の工房

- 生活介護
- 定員：20 名



1989年、利用されている方と一緒にスタッフとそごご家族が生活し、地域の中で自立して生活を営むことを目的に設立されました。

活動内容は運動やアート活動を中心に一人ひとりにあわせたプログラムをご提案。

一人ひとりの“表現活動”＝“おしごと”と捉え、それが地域や社会と繋がっていくお手伝いできればと思い、日々の支援をさせていただいています。より多くの皆さんに‘風の工房’を知って頂く機会として出来た作品の展示会等も開催しています。

OIDEYO ハウス

- 生活介護
- 定員：40名



OIDEYO ハウスでは「はたらく」＝「誰かとつながりながら喜びや満足感を得る」ことだと考えています。利用されている方が作業や活動を通して多くの人と知りあい、自分の良さを実感しながら、自信をもって生きていけるよう支援させていただいています。

作業として、利用されている方の感性表現を活かした雑貨制作、地元のりんごなどを使用したドライフルーツ製造、工場用のウエス製造を行い、地域イベントや県内外の店舗等で販売しています。また、市内外の企業様などから乾燥加工食品、医療用製品、工業製品などに関わる各種受託作業も行っています。余暇活動として、利用されている方の声をもとに様々なりフレッシュの機会も作っています。

“アトリエ”ですが、画家や芸術家はいません。アトリエっぽいことをやっている方がいます。Fuu（ふーっ）と一息つきながら、一緒にやりたいこと探しのお手伝いをさせていただきます。

普段は運動としてウォーキングやリハビリ、個別な活動としてキクラゲ栽培やアート活動、グッズ作成など個々の趣味や能力、ご本人の想いに応じて取り組んでいます。お楽しみとしておやつ作りやグループ外出など、さまざまなイベントを実施しています。



アトリエ Fuu

- 生活介護
- 定員：20名

かりがね共同生活サポートセンター



- 共同生活援助、短期入所（ひなやまの家）

- 定員：
共同生活援助（グループホーム10か所54名、サテライト型グループホーム2か所2名）、短期入所（ひなやまの家3名）

共同生活サポートセンターでは、グループホームを利用されている方の生活に必要な支援を行っています。グループホームでは2～7名、サテライト型グループホームでは1名で生活をしています。スタッフに生活のなかでの困りごとや仕事・活動の相談をしながら、一人ひとりが地域のなかで生活をしています。食事の提供や日々の相談だけでなく、必要な方には入浴、排せつなどの介助も提供しています。



Being together with this town

この町と一緒に。

さなだの杜

- 重度障害者等包括支援
共同生活援助、短期入所（あんず）
- 定員：
重度障害者等包括支援 8 名
共同生活援助
（グループホーム4ヶ所14名）
短期入所（あんず 1 名）



さなだの杜（もり）には利用されている方一人ひとりが真田の地域に大きな根を張り、やがてはその人らしい魅力を輝かせて素敵な杜になってほしいという願いが込められています。また、利用されている方それぞれにあった成長ができるように、日中・夜間を含めた手厚いサポートを包括的に提供する事業所です。

在宅支援センターえ〜るでは、主に行動援護や移動支援といった訪問系サービスを提供させていただいています。利用されている方一人ひとりの特性に配慮しながら、環境設定を行い、個別のニーズに沿った活動を提供させていただきます。

「生活リズムや生活習慣の維持・形成」「情緒の安定」「他者との関わりについて体験的に学ぶ」「姿勢と運動・動作の基本的技能を身につける」等を目的として様々な活動を行っています。一つ一つの活動に対して可能な範囲で、ご自身で開始し、ご自身で終了することによって、達成感や自信につながるよう、一人ひとりに合った活動を提供しています。

かりがね 在宅支援センター え〜る

- 行動援護・重度訪問介護・
居宅介護・移動支援



ミライエ

- 放課後等デイサービス
- 定員：10 名



○ミライエのコンセプトとして

- ・「ミライ（未来）」…未来へ繋ぐ活動を。

お子様が成人された時にとても大きな力となる、「興味」「やりたいこと」「好きなこと」が見つけられるように様々な体験の場を提供します。

多くの成功体験を得られるよう、個々に合ったプログラムを提供します。

- ・「イエ（家）」…安心できる居場所であること。

1人ひとりの特性に配慮し、個性が認められ、安全に、そして安心して過ごせる「居場所」作りをします。学校からご自宅へと気持ち良く帰ることができるような過ごししの場を提供します。

■ かりがね福祉会の歩み

1976年	8月	かりがね福祉会発足 機関紙「かりがね」創刊
1977年	5月	かりがね学園福祉協力会 真田で発足
1978年	8月	法人認可
1979年	4月	「かりがね学園」(現在 ライフステージかりがね) 開設
1981年	9月	～1992年3月 小集団共同生活ハウス「曲尾ハウス」開設
1987年	4月	福祉ホーム「ひなやまの家」開設
1988年	8月	小規模共同生活作業所「風の工房」開設
1990年	10月	通所更生(定員10名)併設
1993年	4月	グループホーム「尾澤ハイツ」開設
1996年	4月	グループホーム「フレンドリーハウス」(現在 廃止) 開設 サテライトデイサービス開設
1998年	10月	グループホーム「戸沢ハイム」(後 えがお 現在 廃止) 開設
1998年	11月	かりがね学園居住棟増築 地域交流ホーム「かてれや」開設
2000年	10月	グループホーム「ひのさわの家」(現在 きらら) 開設
2001年	4月	在宅支援センター「え～る」開設 真田町障害者共同作業所「OIDEYOハウス」(真田町事業委託) 開設
2002年	10月	小集団共同生活ハウス(現在 グループホーム)「ゆめみ荘」開設
2004年	10月	在宅支援センター「え～る」ホームヘルプサービス開始
2005年	2月	福祉ホーム「ひなやまの家」をグループホームに変更
2005年	4月	グループホーム「ジョイ」開設 グループホーム「よつばのいえ」開設
2005年	6月	知的障害者デイサービスセンター「アトリエFuu」開設
2006年	4月	「かりがね学園」から「ライフステージかりがね」に名称変更
2006年	5月	ケア付きの地域内生活「さなだの郷」開設(現在グループホーム)
2006年	10月	「アトリエFuu」を新事業体系に移行(生活介護と生活訓練) グループホーム全体で「かりがね共同生活サポートセンター」設置
2007年	4月	「OIDEYOハウス」を新事業体系に移行(就労移行支援と就労継続支援B型) 「風の工房」を新事業体系に移行(生活介護)
2007年	5月	グループホーム「そらいろ」「あんず」開設 重度障害者等包括支援事業開始
2008年	4月	「ライフステージかりがね」を新事業体系に移行(生活介護と施設入所支援)
2009年	4月	グループホーム「うらら」開設
2010年	4月	「希咲館」開設(就労移行支援と生活訓練) 「いこいの家」(現在 廃止)を地域活動支援センターとして開設
2011年	4月	グループホーム「すもも」(現在 あんずに統合) 開設
2011年	12月	「ライフステージかりがね」の改築工事が完了
2012年	4月	「つつじ」開設(相談支援)
2013年	4月	「希咲館」の事業体系を変更(就労移行支援と生活訓練と就労継続支援B型) グループホーム「ここね」開設 グループホーム「わわ」開設
2014年	12月	サテライト型住居「マーチ」開設
2016年	7月	サテライト型住居「えがお」開設
2016年	10月	「ミライエ」開設(放課後等デイサービス)
2017年	4月	グループホーム「にじいろ」開設
2018年	4月	「希咲館」を「OIDEYOハウス」に統合
2020年	4月	グループホーム「SACHI」開設 「OIDEYOハウス」の事業体系を変更(生活介護)

社会福祉法人

かりがね福祉会

<https://www.karigane.or.jp>

[法人本部]

ライフステージかりがね

〒386-2201 長野県上田市真田町長6430-1
TEL：0268-72-3431
FAX：0268-72-4406

つつじ

〒386-2201 長野県上田市真田町長7166-8
TEL：0268-75-5431
FAX：0268-75-5434

風の工房

〒386-2201 長野県上田市真田町長2464-1
TEL/FAX：0268-72-2151

OIDEYOハウス

〒386-2203 長野県上田市真田町傍陽8551-2
TEL/FAX：0268-73-0005

アトリエFuu

〒386-2202 長野県上田市真田町本原531-2
TEL/FAX：0268-72-1061

かりがね

共同生活サポートセンター

〒386-2202 長野県上田市真田町本原531-1
(よつばのいえ内)
TEL/FAX：0268-72-2434

さなだの杜 / かりがね 在宅支援センターえ〜る

〒386-2201 長野県上田市真田町長6430-1
TEL/FAX：0268-72-8022

ミライエ

〒386-2201 長野県上田市真田町長7166-8
TEL/FAX：0268-71-7810

運営会員募集

—運営会員として私たちを支えてください—

かりがね福祉会では、開設当初から社会に開かれた施設運営を目的とし、「多数参加による民主的な運営」を目指すための制度として、「会員制度」を設立しました。資金援助と共に、多くの皆様の「声」を施設運営に反映していきたいと考えます。

年会費 1口 1,000円 (何口でも結構です)

期 間 1年単位 (ご入金より1年間)

●**ご入金方法** 下記口座より年会費をお振込みください。

・**ゆうちょ銀行** [000550-8487]
名義「社会福祉法人 かりがね福祉会」

・**上田信用金庫 真田支店** [普通貯金：95578]
名義「社会福祉法人 かりがね福祉会 理事 小林彰」